

一般：

- P102 子供の手の届かないところに置くこと。
 P103 使用前にラベルをよく読むこと。
 P101 医学的な助言が必要なときには、製品容器やラベルをもっていくこと。

安全対策

- P264 取扱後はよく洗うこと。

応急措置

- P305 + P351 + P338 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
 P337 + P313 眼の刺激が続く場合：医師の診断／手当てを受けること。

3. 組成及び成分情報

この製品は混合物です。

成分	CAS番号	重量%
グリセリン	56-81-5	40 - 70
水	7732-18-5	10 - 30
炭酸カリウム	584-08-7	7 - 13
炭酸ナトリウム	497-19-8	1 - 5

4. 応急措置

応急措置

吸入した場合

新鮮な空気の環境に移動させる。気分がすぐれない場合は医療機関を受診する。

皮膚に付着した場合

石鹼と水で洗浄する。症状が続く場合は医療機関を受診する。

眼に入った場合

直ちに多量の水で洗浄する。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。症状が続く場合には医療機関を受診する。

飲み込んだ場合

口をゆすぐ。気分が悪い時は医療機関を受診する。

予想できる急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

重大な症状や影響はない。毒物学的影響に関する情報はセクション11を参照する。

応急措置を要する者の保護に必要な注意事項

適用しない。

5. 火災時の措置

消火剤

不燃性。周辺火災に適した消火剤を使用する。火災の場合：消化するために二酸化炭素又はドライケミカル消

火器を使用すること。

使ってはならない消火剤

情報なし。

特有の危険有害性

本製品では予想されない。

消火作業者の保護

消火作業者への特別な防御措置は予想されない。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置

区域から退避させること。新鮮な空気での場所を換気する。物理的有害性、健康有害性、呼吸保護、換気、个人防护については本SDSの他の項目を参照。

環境に対する注意事項

環境への放出を避けること。大量の場合には、下水設備や水施設に流入するのを防止する為に、排水溝にカバーし、土手をつくる。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

漏洩を止める。ベントナイト、バーミキュライトあるいは市販の無機吸収剤を用い、漏洩物の周囲から内側に向けて覆う。漏洩箇所が乾燥するまで十分に吸収剤を混ぜ合わせる。吸収剤を加えても物理的危険性や健康および環境影響に関する有害性を有することに留意する。漏洩した物質を出来る限り多く回収する。密閉容器に収納する。容器を密封する。回収した物質は、国内外の法令や規則にしたがって、できるだけ早く廃棄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

眼への接触を避ける。熱した材料に触れないこと。工業用又は業務用。消費者用途への販売、使用禁止。粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。取扱後はよく洗うこと。環境への放出を避けること。

保管

酸から離して保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

管理項目

許容濃度及び管理濃度

セクション3に記載されたいずれの成分についても、許容濃度は無い。

ばく露防止策

設備対策

加熱する場合は適切な局所排気装置を使用する。 空気中の有害物質をそれぞれの許容濃度以下に制御し、粉じん、フューム、ガス、ミスト、スプレーをコントロールするためにも、一般的な希釈換気あるいは局排換気を行う。換気が適切に実施できない場合は、呼吸保護具を使用する。

保護具

眼の保護具

ばく露評価結果に準じた眼・顔の保護具を選択・使用する。下記の眼・顔の保護具を推奨します。
間接式換気ゴーグル

皮膚及び身体の保護具

ばく露評価に準じた皮膚接触を防止するために、関連した法令で認められた保護手袋・保護衣を選択・使用する。

推奨される手袋の材質： ブチルゴム

ネオプレン

ニトリルゴム

呼吸用保護具

ばく露評価によって保護マスクが必要と判断される場合には、適切なものを使用する。ばく露評価結果に基づいて以下のものから保護マスクを選択する：

有機ガス及び微粒子用半面形あるいは全面形防毒・防じんマスク。

特殊な利用に際して、マスクの適合性に疑問があれば、保護マスクのメーカーに相談する。

熱危険性

やけどを防ぐため、この製品を取り扱う際は、耐熱手袋を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理・化学的性質

外観	液体
物理的状态:	グリセリンと水をベースにした液体
色	淡黄色
臭い	無臭
臭いの閾値	データはない。
pH	11.5 - 12
pH	
融点・凝固点	データはない。
沸点, 初留点及び沸騰範囲	290 °C
引火点	データはない。
蒸発速度	データはない。
引火性 (固体、ガス)	適用しない。
燃焼点 (下限)	データはない。
燃焼点 (上限)	データはない。
蒸気圧	データはない。
蒸気密度/相対蒸気密度	データはない。

密度	データはない。
比重	1.29 [参照基準:水=1]
溶解度	データはない。
溶解度 (水以外)	データはない。
n-オクタノール/水分配係数	データはない。
発火点	データはない。
分解温度	データはない。
粘度/動粘度	120 mPa-s
揮発性有機化合物	データはない。
揮発分	20 %
水と規制除外の溶剤を除いた揮発性有機化合物 (JIS-GHSの要求項目ではない)	データはない。
モル重量	データはない。

ナノパーティクル

この製品はナノパーティクルを含有しない。

10. 安定性及び反応性

反応性

この物質は、通常の使用条件下では、非反応性であると考えられる。

化学的安定性

安定。

危険有害反応の可能性

有害な重合反応は起こらない。

避けるべき条件

知見はない。

混触危険物質

知見はない。

危険有害な分解物

物質

- 一酸化炭素
- 二酸化炭素

条件

- 特段の規定はない。
- 特段の規定はない。

11. 有害性情報

セクション2で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しない場合があります。また、成分の含有量が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、含有成分の毒性情報が、製品の区分、ばく露時の兆候や症状に一致しないことがあります。

毒性学的影響に関する情報

ばく露による症状

組成の試験結果や情報より、下記の健康影響が考えられる。

眼に入った場合

眼の熱傷（加熱中）：予想される徴候と症状としては、激痛、発赤、腫れ及び細胞破壊がある。 中程度の眼の刺激：発赤、腫脹、痛み、流涙、眼のかすみなどの症状。

皮膚に付着した場合

皮膚の熱傷（加熱中）：予想される徴候と症状としては、激痛、発赤、腫れ及び細胞破壊がある。 軽度の皮膚刺激：局所的な発赤、腫脹、かゆみ、乾燥などの症状。

吸入した場合

気道刺激：咳、くしゃみ、鼻水、頭痛、鼻と喉の痛みなどの症状。 加熱したのから発生する蒸気は、呼吸器系を刺激することがある。

飲み込んだ場合

胃腸への刺激：腹痛、胃痛、吐き気、嘔吐、下痢などの症状。

毒性データ

セクション3に開示されている化学成分で以下に情報が無い場合は、そのエンドポイントに対して利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い場合があります。

急性毒性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
製品全体	経口摂取		利用できるデータが無い：ATEで計算。5,000 mg/kg
グリセリン	皮膚	ウサギ	LD50 推定値 > 5,000 mg/kg
グリセリン	経口摂取	ラット	LD50 > 5,000 mg/kg
炭酸カリウム	皮膚	ウサギ	LD50 > 2,000 mg/kg
炭酸カリウム	吸入-粉塵/ ミスト (4 時間)	ラット	LC50 > 5.58 mg/l
炭酸カリウム	経口摂取	ラット	LD50 1,870 mg/kg
炭酸ナトリウム	皮膚	ウサギ	LD50 > 2,000 mg/kg
炭酸ナトリウム	経口摂取	ラット	LD50 2,800 mg/kg

ATE=推定急性毒性

皮膚腐食性及び皮膚刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
グリセリン	ウサギ	刺激性なし
炭酸カリウム	ウサギ	わずかな刺激
炭酸ナトリウム	ウサギ	刺激性なし

眼に対する重篤な損傷又は眼刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
グリセリン	ウサギ	刺激性なし
炭酸カリウム	ウサギ	腐食性
炭酸ナトリウム	ウサギ	腐食性

呼吸器感作性または皮膚感作性

皮膚感作性

名称	生物種	値又は判定結果
グリセリン	モルモット	区分に該当しない。

呼吸器感作性

セクション3に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いが、分類するに十分なデータが無い。

生殖細胞変異原性

名称	経路	値又は判定結果
炭酸ナトリウム	In vitro	変異原性なし

発がん性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
グリセリン	経口摂取	マウス	陽性データはあるが、分類には不十分。

生殖毒性

生殖発生影響

名称	経路	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
グリセリン	経口摂取	雌について生殖毒性は区分されない	ラット	NOAEL 2,000 mg/kg/day	2世代
グリセリン	経口摂取	雄について生殖毒性は区分されない	ラット	NOAEL 2,000 mg/kg/day	2世代
グリセリン	経口摂取	発生毒性は区分されない	ラット	NOAEL 2,000 mg/kg/day	2世代
炭酸ナトリウム	経口摂取	発生毒性は区分されない	マウス	NOAEL 340 mg/kg/day	器官発生期

標的臓器

特定標的臓器毒性、単回ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
炭酸カリウム	吸入した場合	呼吸器への刺激	呼吸器への刺激のおそれ。		NOAEL 非該当	

特定標的臓器毒性、反復ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
グリセリン	吸入した場合	呼吸器系 心臓 肝臓 腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 3.91 mg/l	14日
グリセリン	経口摂取	内分泌系 造血器系 肝臓 腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 10,000 mg/kg/day	2年
炭酸ナトリウム	吸入した場合	呼吸器系	区分に該当しない。	ラット	LOAEL 0.07 mg/l	3月

吸引性呼吸器有害性

セクション3に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無い、分類するに十分なデータが無い。

製品及び成分に関する追加の毒性情報が必要な場合には、本SDSの1ページに記載した住所、電話番号にご連絡ください。

12. 環境影響情報

セクション2で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しないことがあります。セクション2の分類に関する追加情報が必要な場合は、弊社にお問い合わせください。また、成分の環境中での運命及び有害性は、成分の含有が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、この項の内容と一致しないことがあります。

生態毒性

水生毒性（急性）

GHS分類では水生生物への急性毒性はない。

水生毒性（慢性）

GHS分類では水生生物への慢性毒性はない。

製品での試験データは無い。

材料	CAS番号	生物種	種類	ばく露	テストエンドポイント	試験結果
グリセリン	56-81-5	バクテリア	実験	16 時間	NOEC	10,000 mg/l
グリセリン	56-81-5	ニジマス	実験	96 時間	LC50	54,000 mg/l
グリセリン	56-81-5	ミジンコ	実験	48 時間	LC50	1,955 mg/l
炭酸カリウム	584-08-7	ニジマス	実験	96 時間	LC50	68 mg/l
炭酸カリウム	584-08-7	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	200 mg/l
炭酸ナトリウム	497-19-8	藻類または他の水生植物	実験	96 時間	EC50	242 mg/l
炭酸ナトリウム	497-19-8	ブルーギル	実験	96 時間	LC50	300 mg/l
炭酸ナトリウム	497-19-8	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	200 mg/l

残留性・分解性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
グリセリン	56-81-5	実験 生分解性	14 日	生物学的酸素要求量	63 % BOD/ThBOD	OECD 301C-MITI(1)
炭酸カリウム	584-08-7	データ不足			N/A	
炭酸ナトリウム	497-19-8	データ不足			N/A	

生体蓄積性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
グリセリン	56-81-5	実験 生態濃縮		オクタノール/水分配係数	-1.76	非標準的な手法
炭酸カリウム	584-08-7	分類にデータが利用できない、あるいは不足し	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし

		ている。				
炭酸ナトリウム	497-19-8	分類にデータが 利用できない、 あるいは不足し ている。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし

土壤中の移動性

データはない。

オゾン層への有害性

データはない。

13. 廃棄上の注意**廃棄方法**

関係法令に従って、産業廃棄物として自社で処分するか産業廃棄物処理業者に委託して処分する。

14. 輸送上の注意**国内規制がある場合の規制情報**

船舶及び航空輸送上の危険物には該当しない。（国際連合危険物に該当しない） 取扱い及び保管上の注意欄に述べられている一般的注意に従ってください。

15. 適用法令**国内法規制及び関連情報****日本国内法規制（主な適用法令）**

適用しない。

主な法規制物質

成分	法規名		
	安衛法（表示・通知）	化管法	毒劇法
該当なし	該当なし	該当なし	該当なし

16. その他の情報**改訂情報**

セクション1：担当部門名 情報修正.

セクション2：GHS分類 情報修正.

セクション2：注意書き - 一般 情報修正.

セクション2：注意書き - 安全対策 情報修正.

セクション4：毒性学的影響情報 情報の削除.

セクション5：火災時情報（消火剤） 情報修正.

セクション6：事故漏出時の人体に対する注意事項 情報修正.

セクション7：取り扱い時の安全注意喚起情報 情報修正.

セクション8：保護具 - 吸入 情報修正.

セクション 1.1 : 健康影響情報 (眼) 情報修正.
セクション 1.1 : 健康影響情報 (皮膚) 情報修正.
セクション 1.1 : 皮膚感作性の表 情報修正.
セクション 1.1 : 標的臓器 - 反復ばく露の表 情報修正.
セクション 1.2 : 成分生態毒性情報 情報修正.
セクション 1.2 : 生態濃縮性情報 情報修正.
セクション 1.4 : 輸送上の注意の標準フレーズ 情報修正.
セクション 1.5 : 法規名 - 表 情報修正.

免責事項: この安全データシートへの情報は、発行時において正確であると信じられるものです。当社は、法的な要求事項を除き、安全データシートの記載事項について、製品の使用に伴う損失や災害等を補償するものではありません。本安全データシートの記載内容は、記載されている範囲外の使用、あるいは他の物質と組み合わせての使用では効力を持ちません。したがって、製品が使用目的に合致しているかについては、お客様ご自身でご確認ください。

3M ジャパングループの SDS は日本のウェブサイトから入手できます。